

# くずは

2022. 12. 10  
発行 くずはの家  
〒257-0031 秦野市曾屋 1137  
TEL&FAX 0463(84)7874

## 今月の話題「ムシャクロツバメシジミの侵入」

職員の一人が11月9日葛葉川の河原で、えのきの会の昆虫分科会の皆さんが「モニタリングサイト1000里地調査」実施中の11月12日に葛葉台南公園で、今までに葛葉緑地では見つかっていなかった外来種の蝶を発見しました。その蝶の名前は「ムシャクロツバメシジミ」と言います。ムシャと聞くと“武者”が思い浮かび、大変に勇ましい名前ようですが、本当の漢字は“霧社”と書いて、台湾台中市の東側にある山塊の中央に位置する地名なんだそうです。

ムシャクロツバメシジミ（霧社黒燕小灰）は1877年に中国北部から記載されましたが、現在は中国大陸産亜種と台湾産亜種の2亜種に分類され、このうちの台湾産亜種の名前がこの蝶の日本での和名になっています。

ムシャクロツバメシジミは、シジミチョウ科ヒメシジミ亜科のチョウで、葛葉緑地でもよく見られるヤマトシジミ、ツバメシジミ、ルリシジミなど、翅を広げても1円玉ほどの大きさの小さなシジミチョウの仲間です。クロツバメシジミという名前の通り、翅の表側は、オスメス共に黒く、ヤマトシジミのメスに似ています。また、後翅に小さな尾状突起があり、これを燕の尾羽に見立ててツバメシジミという名前が付いています。翅の裏の模様は、白地に黒点が点々とちりばめられていて、ヤマトシジミに似ていますが、翅の外縁

から2列目の黒点と3列目の黒点の間に、暈紋列（うんもんれつ）と呼ばれるぼんやりとした黒紋があるのが特徴です。ベンケイソウ科マンネングサ類のツルマンネングサ、タイトゴメ、メキシコマンネングサ、コモチマンネングサなどの多肉植物を食草としていて、幼虫がまだ小さいうちは葉の中に潜って、皮を一枚残し内部の柔組織を食べてしまいます。マンネングサ類はその属名からセダム(Sedum)と呼んで、観葉植物として販売されています。葉の中に潜り込み摂食するという習性を持つため、日本への侵入もおそらくこういった観葉植物にくっついて侵入したものと思われています。

日本での最初の確認は愛知県名古屋市中で、2013年10月でした。その後2016年11月に福岡県福岡市で発見され、両地域共に現在も発生が続いており、分布域は拡大しつつあります。神奈川県では二宮町で、2021年3月にそれらしきチョウが撮影されましたが、決め手となる翅の裏が撮影されておらず、同定できませんでした。その後、10月に中井町に隣接した平塚市土屋で、翅の裏の模様がしっかりと撮影され、神奈川県でのムシャクロツバメシジミの侵入が確認されました。



ムシャクロツバメシジミ

## 行事報告



11/25(金)自然素材のクリスマスリース作り(34人)



11/26(土)くずはの広場でモルック(15人)

### 参加者の声

- ・自然の物をこんなに贅沢に使わせていただいて、素敵なリースができて、とっても楽しかったです！
- ・思った以上に材料を揃えて下さっていてビックリでした。作り出したら夢中になってあっという間に時間が経ってしまいました。(自然素材のクリスマスリース作り)
- ・以前から興味があり、でもやる機会が無かったため今回は楽しめました。コルックやペットボトル等、自宅でもできる方法を教えていただいた事も良かったです。
- ・モルックという初めての遊びに参加して、楽しめるかな？と思いましたが、やってみると作戦も必要だし、運もありおもしろかったです。(くずはの広場でモルック)

# くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴 夜の行事：小学生以下は保護者同伴

日時	テーマ・場所・講師	対象・定員	受付開始
1月7日(土) 9:00~12:00	<b>水辺の野鳥観察</b> ～小田原城址公園から御幸の浜周辺～ 小泉俊江氏(日本鳥類保護連盟神奈川県支部長) 協力：えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名 (小学生は保護者同伴)	12月15日
1月28日(土) 9:30~11:30	<b>広場で「植物の冬越しめぐり」</b> ～冬を越す植物の知恵～ えのきの会植物分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名	1月4日
1月29日(日) 9:30~10:30	<b>ミニ野鳥観察会</b> えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上10名	1月4日

昆虫分科会の岡山さんに伺ったところ、秦野市からは今年の8月に南矢名で、11月に葛葉緑地で確認されたほか、10月以降、たくさんの発見報告がされているそうです。

今のところ、直接競合する蝶は確認されていませんが、外来種の侵入はどこにどんな影響が出るか分かりません。ムネアカハラビロカマキリの侵入でハラビロカマキリが一扫されたような事態が起こらなければいいのですが。

参考文献：昆虫と自然(2021)56(8)14-23  
相模の記録蝶(2022)(36)2-13



ムシャクロツバメシジミの食草 マンネングサの仲間



よく似ているヤマトシジミ

文：くずはの広場所長 高橋孝洋

### 行事へのお申し込み・お問い合わせは 電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

12月の休館日

5日、12日、19日、26日、29日～31日

1月の休館日

1日～3日、10日、11日、16日、23日、30日

http://www.city.hadano.kanagawa.jp/

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家HPがあります！

## 秦野ガス・ネイチャーパークくずは

## くずはの家のボランティア活動

### ☆11月の活動

定例会：11/6(日)は、はんのき林で植菌したシイタケのほだ木をきれいに並べて立てる作業を行いました。ほだ木になったのはナラ枯れのため伐採した樹齢60年を越すコナラの大木でしたから、材もたくさんあり、かなりの重労働になりましたが、竹できれいに柵を作って整然と並べることができました。新しい薪割り機で薪割りも行いました。今まで割れなかった大径木の木も割ることができ、大量の薪を作ることができました。11/17(木)は、落ち葉掃きとクリスマスリース用のヒムロスギの準備を行いました。こういう作業が入ってくると、冬の訪れを感じます。

花壇の会：秋のお花も一段落したので、草取りと解説板の入替を行いました。

とんぼのせせらぎ：11月はお休みでした。

### ☆これからの活動

定例会：12/15(木)、1/19(木)

花壇の会：1/6(金)、2/3(金)

とんぼのせせらぎ：12/22(木)、1/26(木)



# くずはの広場観察路マップ

2022年11月28日調べ

①～⑬には観察板があります。  
回ってみましょう！

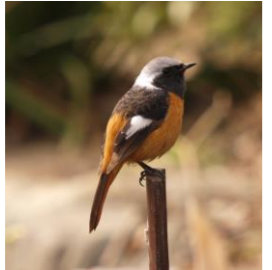
- 凡例
- △ つぼみ
  - ▲ 咲き始め
  - 開花
  - ◎ 満開
  - 咲き終わり
  - ◇ 実
  - ◆ 熟した実



## 11月の野鳥

(11月1日～11月28日調べ)

- 1、キジバト
- 2、ハイタカ
- 3、ノスリ
- 4、カワセミ
- 5、コゲラ
- 6、アオゲラ
- 7、リュウキュウサンショウクイ
- 8、モズ
- 9、ハシボソガラス
- 10、ハシブトガラス
- 11、ヤマガラ
- 12、シジュウカラ
- 13、ヒヨドリ
- 14、ウグイス
- 15、エナガ
- 16、メジロ
- 17、ムクドリ
- 18、ルリビタキ
- 19、ジョウビタキ
- 20、キセキレイ
- 21、ハクセキレイ
- 22、セグロセキレイ
- 23、カワラヒワ



ジョウビタキ

## 11月の昆虫

- チョウ・ガの仲間**
- クロコマチチョウ
  - キタテハ
  - モンキチョウ
  - モンシロチョウ
  - キタキチョウ
  - ヒメジャノメ
  - ヒメウラナミジャノメ
  - ウラギンシジミ
  - ヤマトシジミ
  - ベニシジミ
  - ムラサキシジミ
  - ツバメシジミ
  - ムシャクロツバメシジミ
  - ホシホウジャク
  - リンゴドクガ幼虫

- バッタの仲間**
- コバネイナゴ
  - ツチイナゴ
  - ツツレサセコオロギ
  - クサヒバリ
  - セスジツユムシ
  - ヒメクダマキモドキ

- カブトムシの仲間**
- カブトムシ幼虫
  - タマムシ幼虫
  - ナガニジゴミムシダマシの仲間
  - ゴミムシの仲間
  - ヒメツチハンミョウ

- ハチ・アブの仲間**
- クロスズメバチの仲間
  - セイヨウミツバチ
  - クロナガアリ
  - トラマルハナバチ
  - ホソヒラタアブ

- その他の仲間**
- エサキモンキツノカメムシ
  - ヨコヅナサシガメ幼虫
  - コカマキリ
  - ムネアカハラビロカマキリ
  - トゲナナフシ
  - カオマダラクサカゲロウ
  - アキアカネ
  - オオアオイトトンボ

## くずはの広場トピックス

**露頭の整備…11月8日**  
6年生の授業のために、くずは峡谷のジオサイト、露頭の整備をしました。箱根火山の噴火で飛んできた火山灰のしましま模様の崖です。3回の作業で見えるようになりました。

**樹木の爪痕…11月14日**  
広場のネムノキに中型哺乳類の爪痕が見つかりました。葛葉緑地周辺で木登りできる動物はネコ、テン、ハクビシン、アライグマです。爪痕の深さと大きさを見ると体重があるハクビシンかアライグマ？痕跡から推理するのも楽しいです。

**ヤマアカガエル集合始める…11月26日**  
でんじそう池で毎年この時期鳴き始め、冬越し前の集合の合図のようです。この後冬眠し早春に産卵します。鳴いているのはオスですが、果たしてメスは来ているのかな？



露頭整備の様子